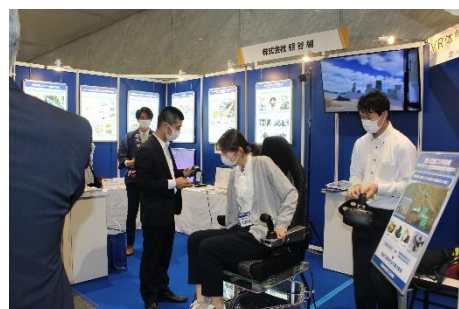
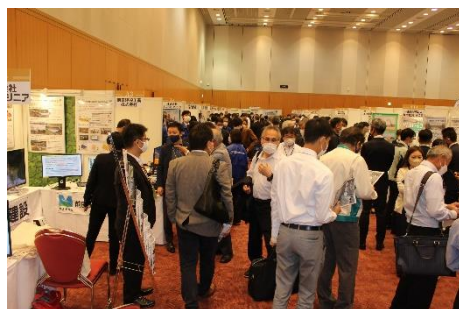


九州建設技術フォーラム 2022

- 日程 2022年10月11日(火)・12日(水)
- 会場 福岡国際会議場 1F・2F・3F・4F (福岡市博多区石城町2-1)
- 主催 九州建設技術フォーラム実行委員会



【開催報告】

■九州建設技術フォーラム 2022 開催報告

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。

今年、メインテーマに「みんなで守ろう いのちとくらし～防災・減災への技術開発～」を掲げて開催。本番初日は、九州大学副学長の園田佳巨実行委員会委員長が主催者挨拶を行い開幕しました。今回の開催内容で特徴的なことは、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して2020年から中止していた対面式のプレゼンテーションやリクルーティングプレゼンテーションを従来方式で実施できたこと。また、基調講演やブース展示会場の入場者数制限も取りやめて開催しました。プログラムでは、講師に九州地方整備局の藤巻浩之局長をお招きして「気象の激甚化とウィズコロナ時代を見据えた九州のインフラ」の演題で基調講演を開催（YouTubeでライブ配信も）。また、より多くの方に土木をもっと身近に感じてもらうための新たな試みとして“土木”を題材とした「土木×落語」を、全国初の地方口演として行いました。

技術の出展状況では、ブース展示数は全体で85組織、出展技術数は122、プレゼンテーションには、33組織が参加。WEBサイトを活用して情報発信を行ったのは、86組織でした。

来場者数は、過去2年間、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加を見送っていた学校が4校（九州大学、九州工業大学、佐賀大学、福岡建設専門学校）参加できたこともあり、2日間で2,788名（1日目：1,481名、2日目：1,307名）が来場、前年比較で665名の増でした。

また、同時開催イベントとして「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム第7回ピッチイベント」も行いました（※開催は10月12日のみ）。

2. 開催結果

○リアル展示等開催（ブース展示・ポスターセッション・基調講演等）

【開催日時】 1日目：令和4年10月 11日（火） 13:00～17:10
2日目：令和4年10月 12日（水） 10:00～16:30

【開催場所】 福岡国際会議場1Fロビー、2F多目的ホール、3Fメインホール、4F会議室
（福岡市博多区石城町） TEL.092-262-4700

○オンライン開催（WEBサイト）

【閲覧期間】 令和4年10月11日（火）～令和4年11月30日（水）

3. 実施内容

●開会式



○実行委員会役員整列



○主催者挨拶（園田委員長）

●1日目(11日)

(1) 基調講演 ※聴講者は823名 ※YouTube配信期間：10月11日～11月30日

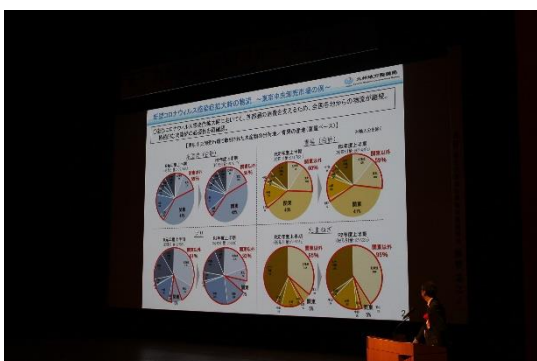
- ・演題：「気象の激甚化とウィズコロナ時代を見据えた九州のインフラ」
- ・講師：藤巻 浩之氏（九州地方整備局長）



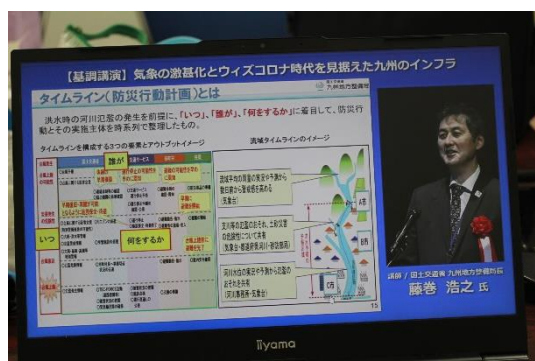
○会場風景



○講師（藤巻氏）



○講演風景



○YouTubeのWEB中継（パソコン受信画面）

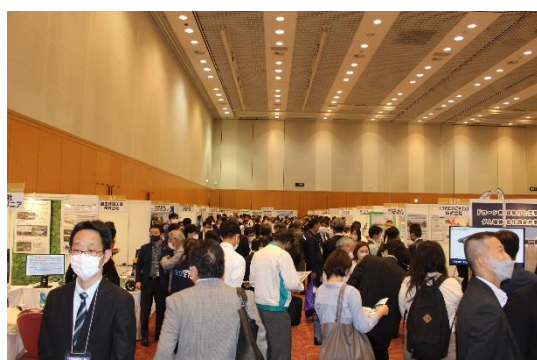
(2) 技術情報提供

●1日目(10月11日)

1) 技術情報のブース展示（※10月11日・12日の2日間）

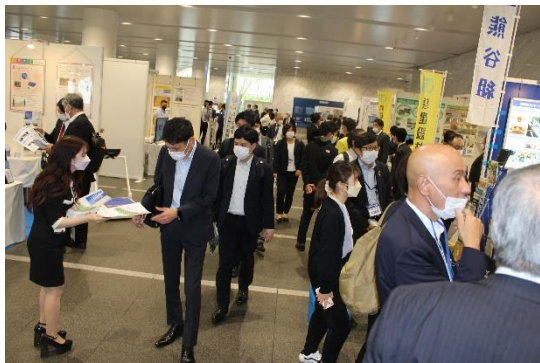
- ・テーマ：「安全防災」「インフラDX」「維持管理」「環境」「品質」「コスト」学会関係
- ・出展数：85ブース（出展者数：1階9ブース 2階76ブース）

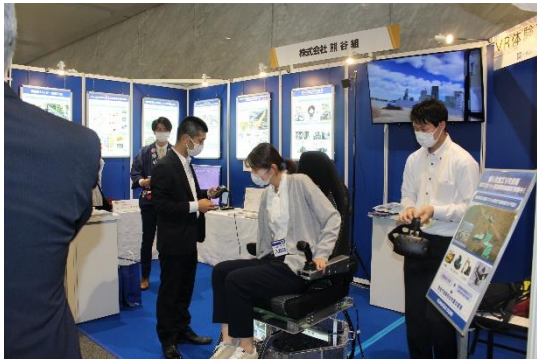
▼2階展示会場





▼ 1階展示会場





2) ポスターセッション

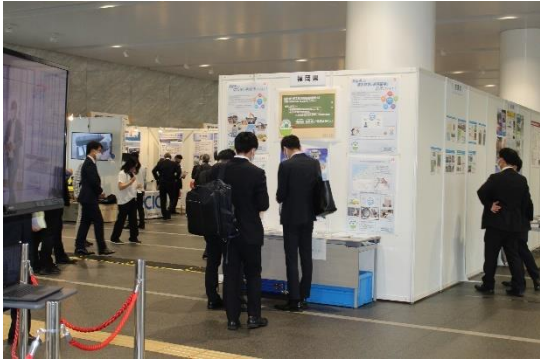
・ 出展者数：7 (協会等：3 学会関係：3 行政(国)：1)



3) 自治体パネルの展示

・ 出展自治体：10 自治体 (福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 福岡市 北九州市 熊本市)





4) プレゼンテーション (会場：402・403 会議室+405・406 会議室)

- ・参加組織：33 組織 1 日目 (10 月 11 日) → 企業・協会 (団体) 12、学会 1、官 2
2 日目 (10 月 12 日) → 企業・協会 (団体) 16、学会 2
- ・ジャンル：安全防災 12、インフラ DX9、維持管理 6、品質 1、学会 3、官 2
- ・聴講者数：1 日目 (10 月 11 日) → 614 名
2 日目 (10 月 12 日) → 646 名



5) リクルーティングプレゼンテーション (会場：413・414 会議室)

メインターゲットの学校は、九州大学・九州工業大学・佐賀大学・福岡建設専門学校が来場、2 日間で約 400 名が聴講。

(※参加機関の紹介動画は、専用ホームページにアップして広く公開)

- ・参加機関：4 組織 (10 月 11 日・12 日共通)
 - (一社) 日本建設業連合会九州支部
 - (一社) 日本橋梁建設協会九州事務所
 - (一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部
 - (一社) 建設コンサルタント協会九州支部



- 5) リクルーティングプレゼンテーション参加機関の紹介動画
 (※下の画像は専用ホームページから転載)

オリジナルPR動画

■一般社団法人
建設コンサルタンツ協会九州支部



公共事業におけるまちづくりを計画、設計

国や自治体の依頼を受け、道路、橋梁、トンネル等の社会インフラの整備を通して住みよいまちづくりを支える技術者集団の業務内容と活躍の分野を、アニメを使って紹介します。

■一般社団法人
日本橋梁建設協会九州事務所



橋で街と街を結び、豊かな明日を拓く

街と街を繋ぐことで円滑な物流を支え、豊かな暮らしをつくる橋梁の建設や補修・メンテナンスに、高度な技術で応えるプロの仕事ぶりを多彩な画像を使って紹介します。

■一般社団法人
日本建設業連合会九州支部



活躍の場は日本のみならず全世界へ

国内約50万社で構成される日本トップレベルの業界。活躍の場が全世界へ広がる業界の仕事の内容やビッグプロジェクトに参加する醍醐味を多角的な視点で紹介しています。

■一般社団法人
プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部



確かなコンクリート技術で社会基盤を築く

日本の安全で暮らしやすい国土建設に欠かすことができないコンクリート構造物が果たす役割やさまざまな施工事例等を、わかりやすい動画を使って紹介しています。

6) WEBサイトによるオンライン出展

- ・出展組織 81 企業・協会（団体）：80 官：1
- ・閲覧期間：令和4年10月11日～令和4年11月30日
- ・閲覧者数：延べ321人（昨年675人）
- ・閲覧ページ数（アクセス数）：2281回（昨年4,759回）

九州建設技術フォーラム 2022
オンラインバージョン

092-284-9211 (業務委託先: ㈱プランニング松元)

お問い合わせ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

九州建設技術フォーラム オンラインバージョン

2022

開催テーマ
みんなで守ろういのちとくらし
～防災・減災への技術開発～

開催プログラム	出展者等紹介	「基調講演」LIVE配信	アンケートのお願い
「九州建設技術フォーラム2022」の開催プログラムの概要を確認することができます。	最新のイベント情報を随時更新中です。詳しくはこちらからご覧ください。	10月11日の13時に開催します「基調講演」は、YouTubeでライブ配信いたします。ご視聴される場合は、クリックしてください。	オンラインWEBサイトで本フォーラムにご参加いただきました皆様には、今後の開催運営の参考とするために、アンケートへの協力をお願いしております。入力フォームは、ここをクリックしてください。

お知らせ

News

2022年10月11日 [九州建設技術フォーラム2022 オンラインバージョンをオープンいたしました。](#)

お問い合わせ

092-284-9211
(業務委託先: ㈱プランニング松元 担当: 小川)

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

主催: 九州建設技術フォーラム実行委員会
Copyright(C) C.A.G.forum-2022. All Rights Reserved.

○TOP ページ

メインコンテンツ：①開催プログラム ②出展者等紹介 ③「基調講演」LIVE 配信（10月11日～11月30日）④アンケートのお願い

開催プログラム

| 10月11日(火曜日)

時間	場所	内容
12:30~	2Fロビー	受付開始
13:00~13:15	3Fメインホール	開会式 実行委員長挨拶
13:15~14:15	3Fメインホール	基調講演 ※講演は、以下の YouTube で LIVE 配信。 https://youtu.be/8ipwndgGyuQ  「気象の激甚化とウイズコロナ時代を見据えた九州のインフラ」 講師 国土交通省九州地方整備局長 藤巻 浩之 氏
14:15~17:00	1Fロビー 2F多目的ホール/ロビー 402・403、405・406会議室	技術情報の提供 ■1Fロビー・2F多目的ホール ・ ブース展示/ポスターセッション/自治体パネル展示 ■402・403、405・406会議室 ・ プレゼンテーション(14:30開始) ■オンラインWEB サイト ・ (13:00から終日間覧可能)
14:30~	413・414会議室	リクルーティングプレゼンテーション

○「開催プログラム」の詳細ページ

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質・コストのジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

| 出展者検索

検索したい企業名や技術情報名を入力後、Enterキーを押してください

| 出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

● インフラDX

● 安全防災

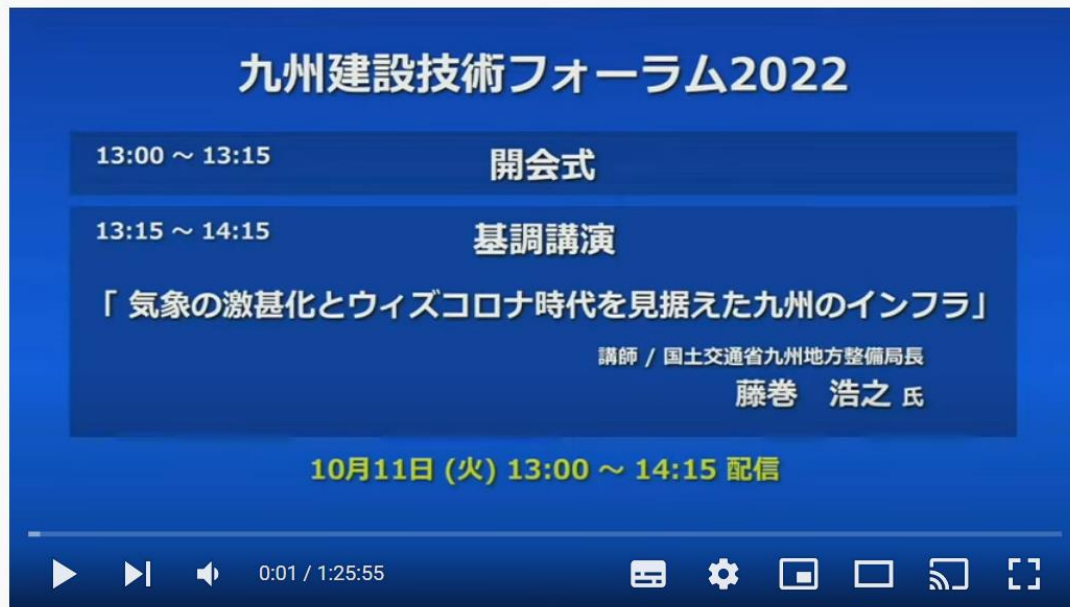
● 維持管理

● 環境

● 品質

● コスト

○「出展者等紹介」の詳細ページ



九州建設技術フォーラム2022

↔ 限定公開

444 回視聴・2022/10/11 にライブ配信

👍 4 💬 低評価 ➦ 共有 ≡+ 保存 ...

○ 「基調講演」LIVE 配信の YouTube 画像

アンケートのお願い

WEBサイト閲覧者の皆様へ

本WEBサイトにつきまして、以下のアンケート 調査にご協力ください。

Q1. 職業等属性についてお聞きします。

A. 企業・協会等 B. 学校関係 C. 行政(国) D. 行政(県市町村) E. その他(自由業・主婦等)

Q2. 『九州建設技術フォーラム2021』を何で知りましたか？(複数回答可)

A. ポスター B. チラシ C. ホームページ D. 新聞 E. その他

Q3. WEBサイトについて、知りたい情報はスムーズに入手できましたか？

A. 入手できた B. 入手できなかった C. わからない

[Q3-1]Q3で「入手できなかった」と回答の方へ、どのような情報が入手しづらかったでしょうか、具体的にお書きください。

Q4. WEBサイトによる情報発信について、今後も継続を希望されますか？

A. 希望する B. 希望しない C. わからない

Q5. WEBサイトの構成内容等について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

○ 「アンケートのお願い」の詳細ページ

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質・コストのジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

出展者検索

検索したい企業名や技術情報名を入力後、Enterキーを押してください

出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

●インフラDX

アイサンテクノロジー株式会社	大規模点群データ高速編集ツール
株式会社アイティエス	モバイル端末を使用した3次元計測アプリ、BOLT-Tester、コンクリートデスターCTS-Q2v4
安藤ハザマ	次世代型の盛土施工管理技術のDX化
株式会社 EARTH BRAIN	Smart Construction Quick 3D
いであ株式会社	インフラDXに活用できる可視化技術
WILL工法協会	ICT対応型スラリー播種機工法 (WILL-i 工法)
株式会社エイト日本技術開発	構造物点検におけるDX化、AUVを用いた水ソリューションサービス
NTTインフラネット株式会社	道路工事調整アプリ、立会受付Webシステム
エポコラム協会 九州支部	エポコラム工法 (Loto・Taf・Pls工法)
株式会社大林組	複数建機の自動・自律化システム、リアルハプティクス技術
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	ICT土工支援サービス (インフラマネジメント支援システム【構築】)
鹿島建設株式会社	A4CSEL (クワッドアクセル)、CO2-SUICOM

○「出展者等紹介」の出展技術一覧のページ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

HOME > 出展者等紹介 > 安藤ハザマ

担当: kato.keizo@ad-hzm.co.jp

出展技術名 [インフラDX] 次世代型の盛土施工管理技術のDX化

この出展者固有ページでは、以下の4つのコンテンツを設定して、閲覧者のみなさまに、それぞれのテーマ別に出展者のもとより、今回、本フォーラムに出展されました建設技術をより深く・広くご理解いただくために技術解説カタログ、プレゼンテーションデータ、動画等を掲載しております。是非アクセスしてご覧いただきますよう、お願いいたします。

- 出展者の紹介
- 出展技術の概要
- PR動画
- カタログ等

● ホームページ

● 出展技術概要書

● リーフレット

● 会社案内

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

主催：九州建設技術フォーラム実行委員会
Copyright © C.A.P. Forum 2022. All Rights Reserved.

○「出展者等紹介」の出展者紹介固有ページ

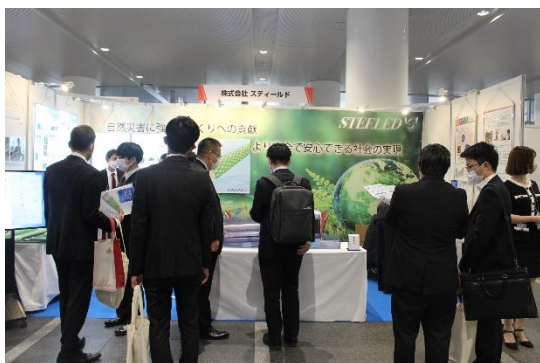
●2日目 (10月12日)

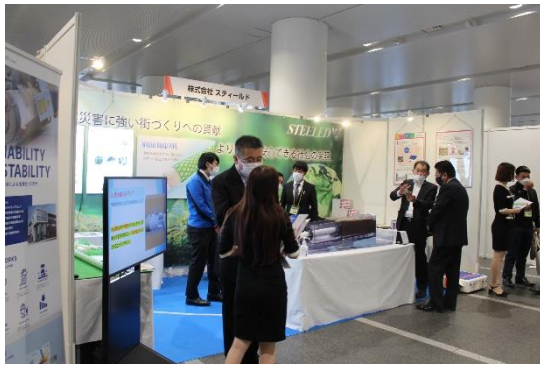
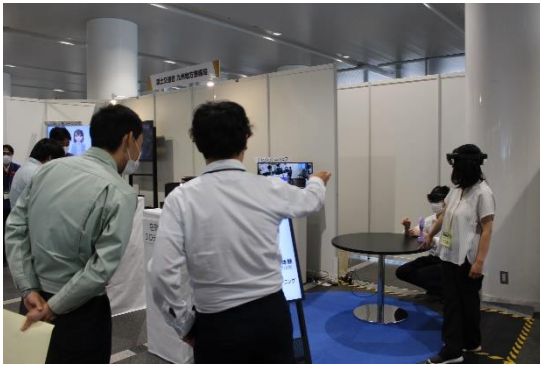
1) 技術情報のブース展示 (※テーマ及び出展数は11日・12日共通)

▼2階展示会場



▼1階展示会場





2) ポスターセッション

・出展数：※11日・12日共通

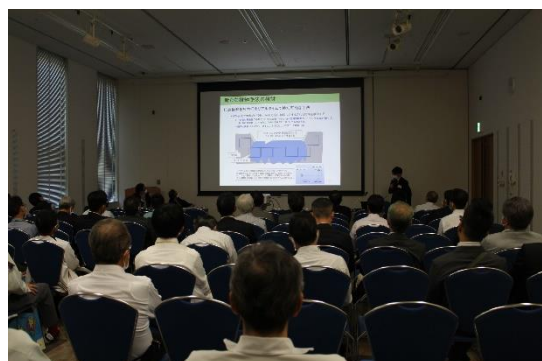


3) 自治体パネルの展示

・出展者：※11日・12日共通



4) プレゼンテーション (※参加機関数やジャンルは 11 日参照)



5) リクルーティングプレゼンテーション (※参加機関は、11日と同じ)



6) 特別プログラム：「土木×落語」（413・414 会議室）

- ・柳家 小きん 師匠（一般社団法人落語協会 真打）
- ・来場者数：250 名



○口演の様子は、（一社）建設コンサルタント協会九州支部のホームページで動画配信

7) WEB サイトによるオンライン出展

- ・出展内容：※11 日・12 日共通

8) リクルーティングプレゼンテーション（※専用ホームページ上で WEB 動画配信）

- ・動画配信：※11 日・12 日共通

※特別展示（2F ロビー）

写真展「高校生がみた土木の世界」

主 催：青春 BUILD プロジェクト

後 援：国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所・佐賀国道事務所・
武雄河川事務所・長崎河川国道事務所・長崎港湾・空港整備事務所/
大分建設新聞/佐賀建設新聞/長崎建設新聞



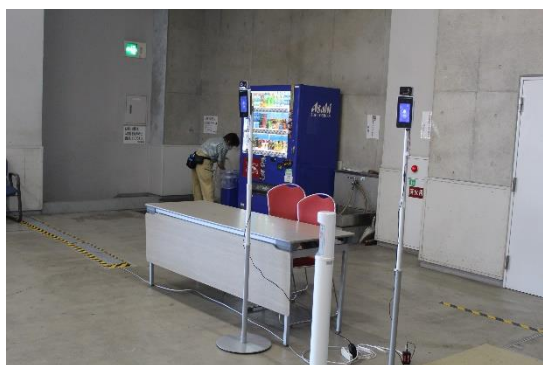
4. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（※感染拡大防止対策の一部を抜粋）



○フォーラム来場者用の専用入口看板設置



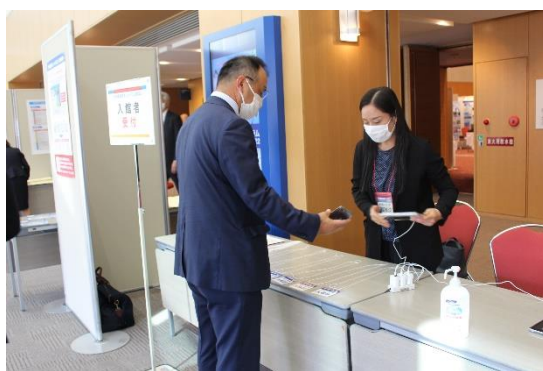
○サーモグラフィ検温（正面玄関）



○スマートフォンによる非接触型検温(荷捌き場)



○会場内各所にセンサー式手指消毒機器配置



○QR コード読み取りでの非接触型受付 1



○QR コード読み取りでの非接触型受付 2

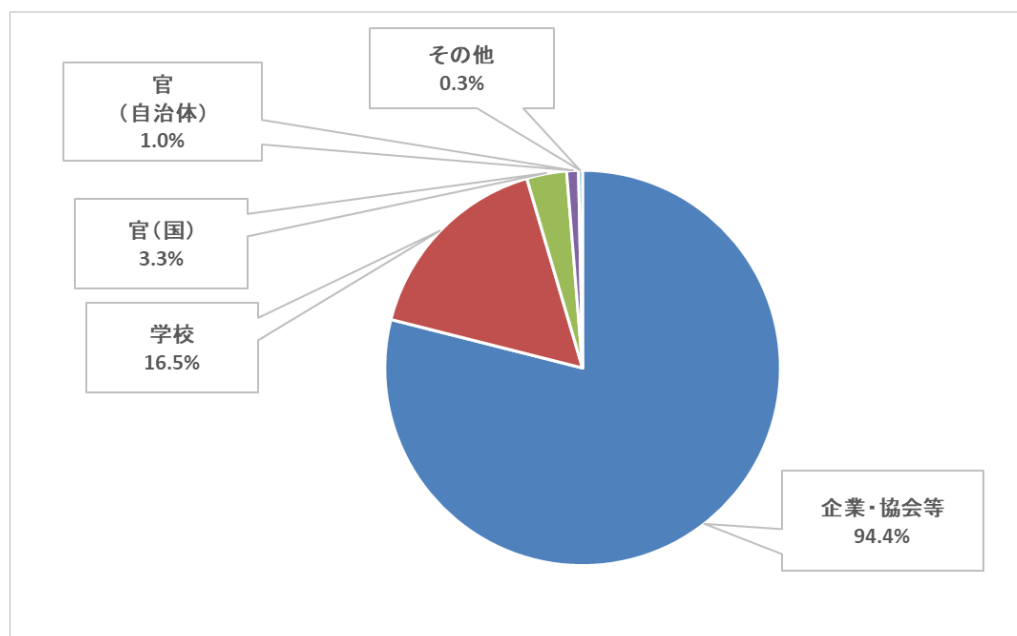
5. 入場者数内訳

「九州建設技術フォーラム2022」来場者内訳

分類		11日	12日	合計
産	※出身県別確認不可	1,208	993	2,201
	小計	1,208	993	2,201
学	大学	188	172	360
	専門学校	0	100	100
	高校	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	188	272	460
官	国	67	24	91
	地方自治体	15	12	27
	その他	0	0	0
	小計	82	36	118
報道・その他		3	6	9
合計		1,481	1,307	2,788

		11日	合計
講演来場者	メインホール会場	823	823
	小計	823	823

【産学官別入場者内訳】



6. 出展方法および所属団体別参加実績

■「九州建設技術フォーラム2022」出展実績

□出展ブース内訳

		(ブース)
インフラDX		32
コスト		1
安全・防災		28
環境		2
品質		3
維持管理		16
合計		82 ※学会×3を除く

▼2021年実績

		(ブース)
	インフラDX	21
	コスト	6
	安全・防災	25
	環境	4
	品質	6
	維持管理	16
合計		78

□出展ブース別技術数内訳

		(技術)
インフラDX		41
コスト		3
安全・防災		42
環境		7
品質		5
維持管理		24
合計		122 ※学会×3を除く

		(技術)
	ICT	27
	コスト	8
	安全・防災	37
	環境	5
	品質	9
	維持管理	21
合計		107

□参加企業・官・協会団体・学会数内訳

		(組織)
企業		65
官(国)		3
官(自治体)		10
協会団体		26
学会		3
合計		107 ※共同出展は2で計上

		(組織)
	企業	70
	官(国)	2
	官(自治体)	10
	協会団体	23
	学会	3
合計		108

□ブース・WEBサイト出展者履歴内訳

		(組織)
新規		13
出展実績有		76
合計		89 ※共同出展は1で計上

		(組織)
		10
		75
合計		85

□ブース・WEBサイト出展者所属団体内訳

		(組織)
日本建設業連合会 九州支部		15
日本道路建設業協会 九州支部		1
日本橋梁建設協会 九州事務所		2
日本建設機械施工協会 九州支部		3
日本埋立浚渫協会 九州支部		1
プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		2
全国特定法面保護協会 九州地方支部		5
全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0
九州コンクリート製品協会		2
建設コンサルタンツ協会 九州支部		14
その他(大学含む)		44
学会		3
発注機関		1
合計		93 ※一部重複

		(組織)
		14
		2
		2
		2
		2
		3
		4
		0
		2
		14
		0
		3
		2
合計		50

□技術情報の提供方法

		(組織)
ブース展示		85
WEBサイト		4
合計		89

		(組織)
	ブース展示	81
	ブース展示のみ	4
	プレゼンのみ	
	カタログのみ	
合計		85

□ブース・WEBサイト出展者所在地

		(組織)
福岡		62
佐賀		3
長崎		0
大分		2
熊本		1
宮崎		1
鹿児島		0
関東・甲信越地方		12
近畿地方		1
中部地方		3
山口・中国地方		0
北陸地方		1
四国地方		0
北海道		2
東北地方		1
合計		89

		(組織)
		65
		2
		0
		1
		1
		1
		0
		9
		0
		2
		0
		0
		1
		3
合計		85

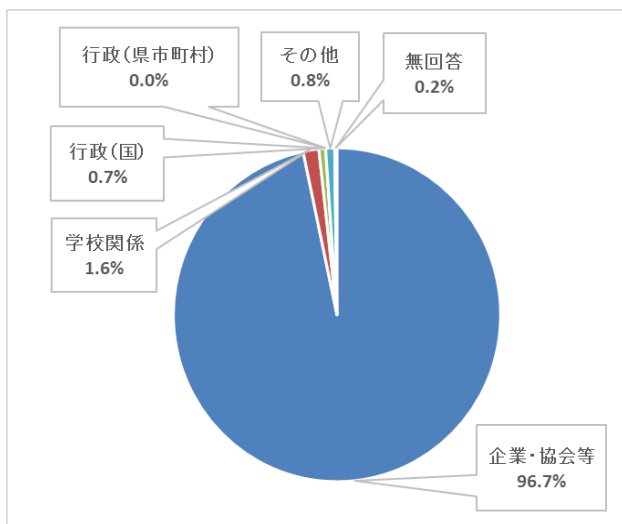
展示種類	出展機関所属団体	出展数		▼2021年実績
		出展数		出展数
ブ ー ス 展 示	日本建設業連合会 九州支部	産	15	14
	日本道路建設業協会 九州支部		1	2
	日本橋梁建設協会 九州事務所		2	2
	日本建設機械施工協会 九州支部		3	2
	日本埋立浚渫協会 九州支部		1	2
	プレストレストコンクリート建設業協会		2	3
	全国特定法面保護協会 九州地方支部		5	4
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0	0
	九州コンクリート製品協会		2	2
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		14	14
	その他		44	40
	土木学会 西部支部	学	1	1
	地盤工学会 九州支部		1	1
	九州橋梁・構造工学研究会		1	1
	九州地方整備局		発注機関	1
	合計		93	89
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	日本建設業連合会 九州支部	産	0	0
	日本橋梁建設協会 九州事務所		1	1
	プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		1	1
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		1	1
	土木学会 西部支部	学	1	1
	地盤工学会 九州支部		1	1
	九州橋梁・構造工学研究会		1	1
	西日本高速道路株式会社		0	0
	九州地方整備局	発注機関	1	1
	福岡県	官(自治体)	1	1
	佐賀県		1	1
	長崎県		1	1
	熊本県		1	1
	大分県		1	1
	宮崎県		1	1
	鹿児島県		1	1
	福岡市		1	1
	北九州市		1	1
熊本市	1		1	
	合計		17	17

※一部

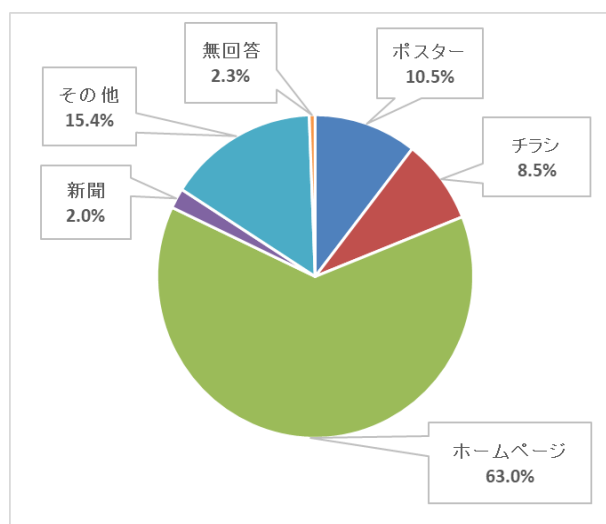
7. 来場者等へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】（アンケート集計数：451件）

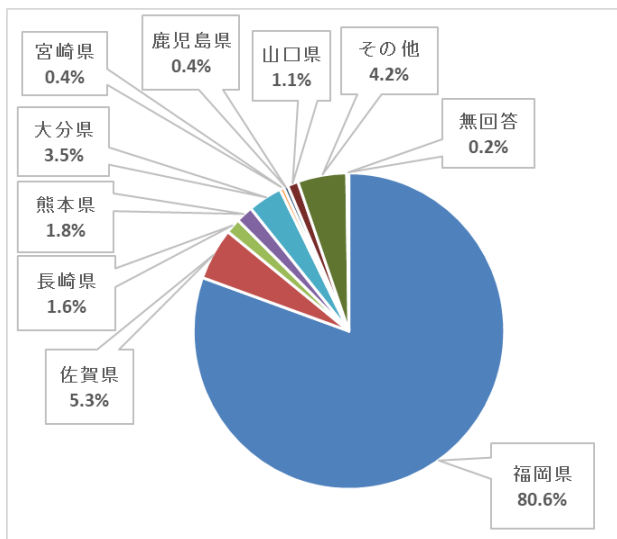
●職業は？



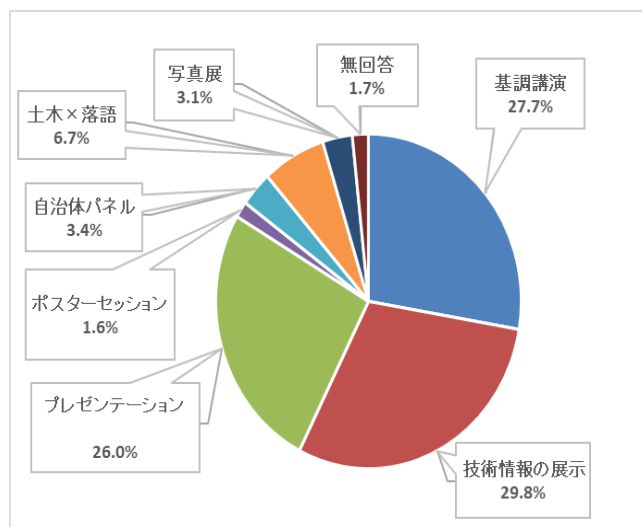
●何で知りましたか？



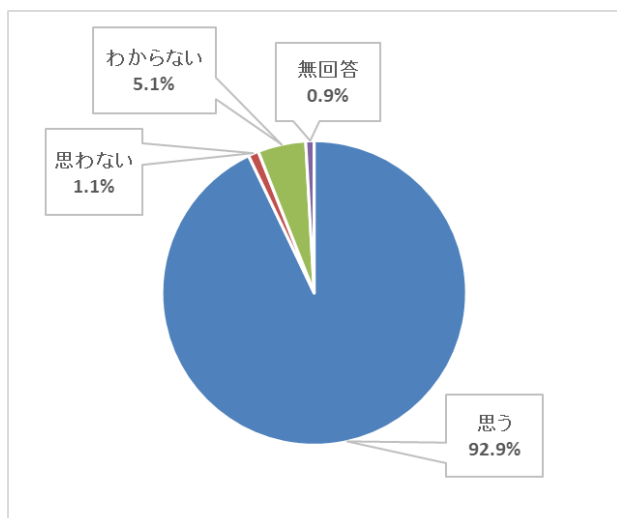
●どちらから来られましたか？



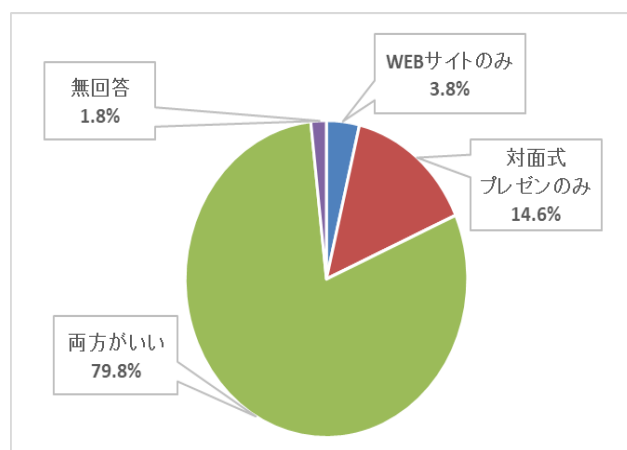
●印象に残ったプログラムは？



●今後参加したいですか？

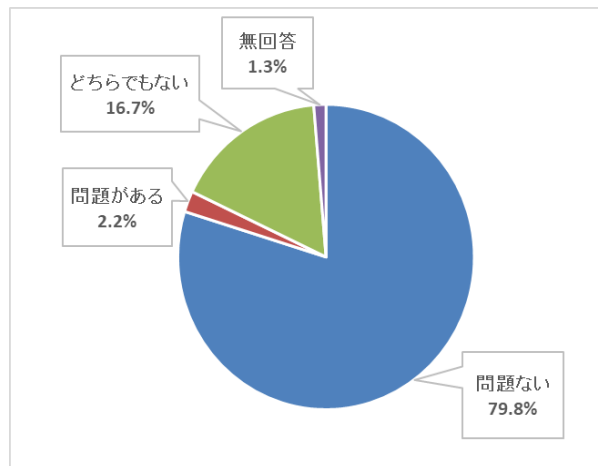
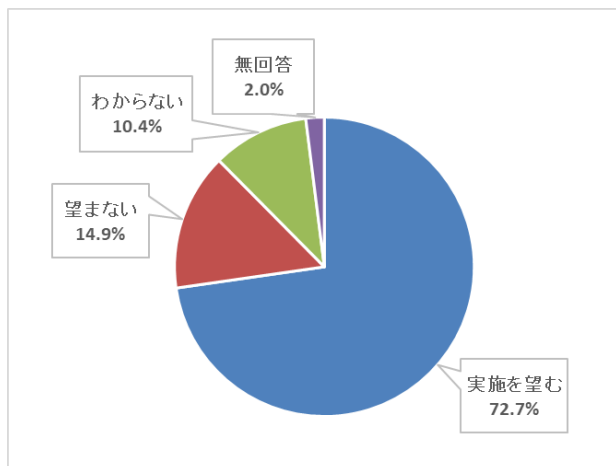


●プレゼンテーションの情報発信はWEBサイトも必要ですか？



●「基調講演」のライブ配信を今後も望むか？

●コロナ感染拡大防止対策をどう思うか？



●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

【Q4-1】「基調講演」について、今後聞いてみたいテーマ等ございましたらお聞かせ下さい。

- ・ CIM/BIM に関する動向
- ・ 土木技術者減少をどのように対応して確保するか。
- ・ 流域治水における新たな地方の形成・街づくり。
- ・ DX。
- ・ VR 技術。
- ・ 防災対策・対応に関する内容。
- ・ 3次元、デジタルラインの活用や政策。
- ・ ICT 施工。
- ・ コンクリート構造物のインフラ整備、補修計画。
- ・ カーボンニュートラルの行方。
- ・ 橋梁の維持管理。
- ・ コロナを見据えた土木の今後。
- ・ 維持管理の将来展望。
- ・ ICT や遠隔臨場システム。
- ・ 火山噴火、巨大地震の発生メカニズム。
- ・ 災害復旧に関する施工方法・決定方法。
- ・ 建設 DX の現状、課題。
- ・ 国土強靱化と災害について、今後との展望を聞きたい。
- ・ インフラの経済的効果。
- ・ 一級土木が主になるが、農業土木をテーマにした内容を数年に一度は取り上げて欲しい。
- ・ 働き方改革と建設技術（労働時間の減や週 5 勤務、リモートワーク等を事例に）。
- ・ 自動運転など運輸の DX と土木。
- ・ 不足する若手技術者の育成方法。
- ・ 国土交通政策の今後の展望、重点テーマ。
- ・ 産学官建設技術交流会からの報告や提言。
- ・ 新技術開発導入に関する全国の動向。

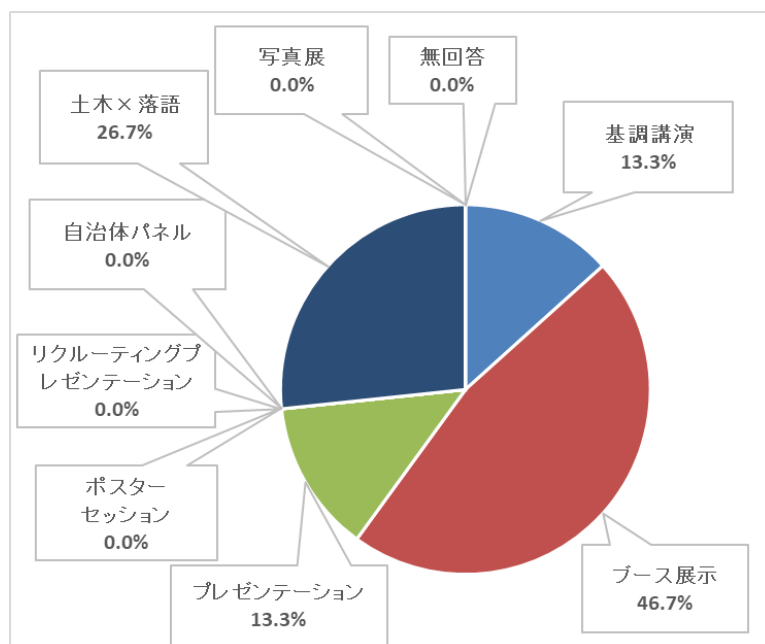
【Q9】九州建設技術フォーラムへのご要望がありましたらお聞かせ下さい。

- ・ネットによる事前参加申込の幅広い周知を望む。
- ・参加者が固定している。現場勤務者も来場できるといいが・・・(ゼネコン所属者です)
- ・学生の参加が多くていい。
- ・基調講演が良かった。
- ・継続的な開催を希望。各社の取組や実績などが大変参考になる。
- ・多分野の企業の情報が入手でき良かった。
- ・最新の技術動向やプレゼンを聞けて有意義だった。来年も是非参加したい。
- ・マスコミをうまく活用した情報発信を。
- ・基調講演は、災害復旧の工法の設定について勉強になった。来年度以降の開催を希望。
- ・プレゼンも YouTube 配信を一定期間希望。
- ・防災・減災は今後も重要なテーマだ。今後も最新の技術情報を提供してほしい。
- ・今後も九州の建設技術発展のため、新技術を含め、技術紹介をしてほしい。
- ・オンラインで参加できるようにしてほしい。
- ・関係団体・関係者に限らず、広く一般も来訪するようにしてほしい。
- ・多くの企業の出展があるといい。学生へのアピールの場になるとさらにいい。
- ・大学発シーズの展示・プレゼンを取り入れてみては。
- ・プレゼンの件数をもっと増やしてほしい。
- ・基調講演以外の講演の実施はできないのか。
- ・発注者（行政）の講演をたくさん聞きたい。

8. 学生へのアンケート調査結果

【学生アンケート】（アンケート集計数：15件）

【Q1】 関心を持ったプログラムや技術情報の展示は？

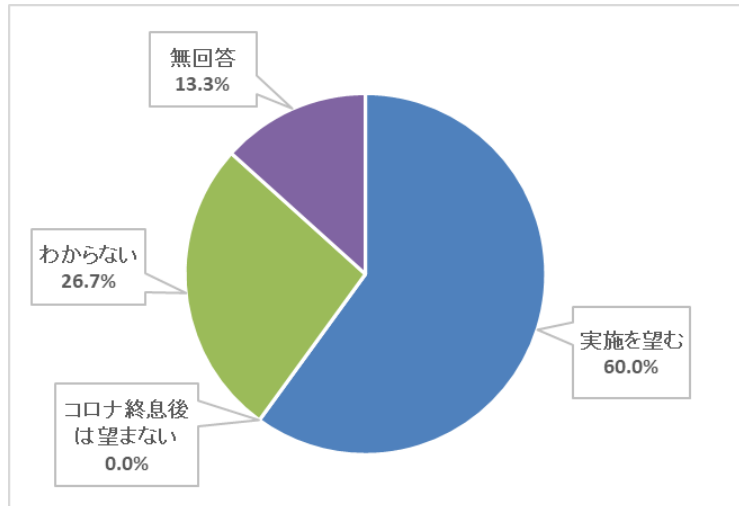


●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

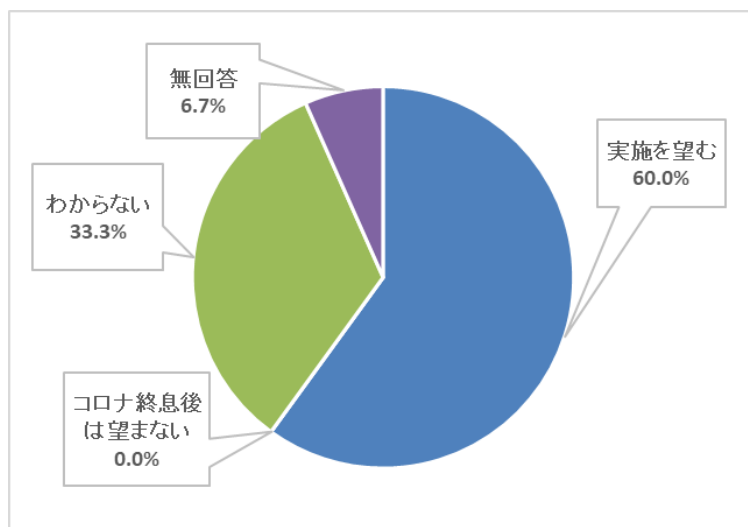
【Q1-1】 とくに印象に残ったプログラムや情報の展示について、その理由は？

- ・ 展示ブースでは、担当者がいろいろな話をしてくれ楽しかった。
- ・ いろいろな企業の話聞いてよかった。
- ・ 動画を組み込んだプレゼンが多く、非常に興味をひかれた。
- ・ 国土交通省の講演を初めて聞いたが、災害復興支援の現場では、日々新しい技術が挿入されていることが聞けたので。
- ・ 九州地方整備局の活動範囲の広さや施工の工夫に驚くことが多かったので。
- ・ さまざまな職種とその仕事内容がある程度理解できた。普段は知る機会がないことが大まかにわかった。
- ・ これまで知らなかった建設業界について、どのような仕事をしているのか、どのような社会づくりにしているのかがわかった。
- ・ ゼネコンさんのVR体験を体験して、土木の楽しさを知ることができた。
- ・ 建設業界にかかわっている人について知ることができた。また、事業の流れや1日の仕事内容が細かく知れてとても良かった。
- ・ 多くの企業の担当者から仕事内容について話が聞けた。
- ・ 人の暮らしに関わっていて、やりがいのある仕事だと感じた。
- ・ 仕事内容について詳しく説明を聞くことができた。

【Q3】今回「基調講演」をライブ配信しましたが、今後も実施を望むか？



【Q4】「リクルーティングプレゼン」の専用ホームページでの動画配信は今後も継続がいい？



【Q5】対面式のプレゼンに代わる情報発信手法で、来年度以降もWEBサイトが必要か？

